

令和3年度 特定非営利活動法人 岐阜県レクリエーション協会 活動方針と重点施策

活動方針

「ねんりんピック岐阜2021」の成功と持続可能な「ミナレク運動」の推進

当協会は、昭和47年に設立し、「楽しさ」・「遊び」・「笑顔」を基調とした「一人ひとりの豊かなライフスタイルと、生き生きとした生涯スポーツ社会の実現」に向けて、レクリエーション運動を普及してきました。

平成17年にNPO法人化し「長良公園・岐阜県軽スポーツ研修センターの管理運営」を受託、平成20年から「全国スポーツ・レクリエーション祭岐阜県運営委員会事務局」を行うなど、社会的に大きな評価を得ることができました。平成24年に開催された「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」では、総合開閉会式やデモスポ行事など中心に関わり、平成28年の「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」は、大会史上初めて県内全市町村が会場となるとともに、種目数、参加者数はいずれも過去最大規模で開催しました。平成29年には、県民皆が1つはレクリエーションを実践し、体・心・頭の健康を増進させ、健康長寿につなげる「ミナレク運動」が始まり、全市町村を会場とする「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」を新たに創設しました。令和2年には市町村レクリエーション協会を全市町村に設立し、レクリエーション運動はまさに“オールぎふ”で展開してきました。

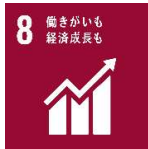
しかし、時代の変化や社会の変革において、昨今の社会情勢は極めて厳しく、レクリエーション活動を取り巻く環境も同様に、生き残りをかけた大切な時であり、今後は、これまでの取り組みの実績をしっかりと継承しつつも、SDGs（持続可能な開発目標）の観点から協会全体の取り組みの検証を行い、大胆な改革を実行して、より一層の改善・拡充を図っていくため、NPO法人を発展的解消し、一般社団法人化といたします。

令和3年度は、これまでの取り組みの集大成となる「ねんりんピック岐阜2021」が開催され、岐阜県における将来のレクリエーション運動の大きな転換期を迎えます。令和4年度には岐阜県の健康長寿施策が新たなスタートとなり、当協会としてその中心的な役割を担うために組織をさらに強化し、関係団体と連携を深め、一般社団法人岐阜県レクリエーション協会として「新ミナレク運動」の推進を図ります。

岐阜県レクリエーション協会が取り組むSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

イベント事業、推進組織事業、ソフトインフラ事業などを展開することにより、持続可能な「ミナレク運動」を推進していきます。



重点施策

○レクリエーションの全県展開

- ・第33回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2021の成功
- ・ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2021の開催
- ・レクリエーション普及拡大事業の実施

○レクリエーション推進組織の育成

- ・市町村レクリエーション協会・種目団体の育成および連携の強化
- ・岐阜県レクリエーション推進団体との連携・拡大

○レクリエーションの人材育成

- ・ミナレク運動推進リーダーの養成

令和3年度 主要事業の概要

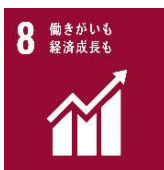
1 レクリエーションの全県展開 ～レクリエーションイベント事業～



「ねんりんピック岐阜2021」や「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2021」をはじめ、子どもから高齢者、障がいのある方もない方も直接レクリエーションに触れる機会を提供することで、健康づくり・生きがいづくり、そして差別のない社会づくりに寄与します。また、コロナ禍であっても、SNSや動画配信を活用したり、ガイドラインの改訂を継続するなど、誰一人残さないミナレク運動の実現に務めています。

- (1) 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2021
- (2) ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2021の開催
 - ・5圏域レクフェス、種目大会、市町村協賛イベントの実施
- (3) レクリエーション指導者派遣事業
 - ・施設や団体等に年間200回以上指導者を派遣
- (4) 広報の強化
 - ・SNS(フェイスブック・インスタグラム)や動画配信(YouTube)の活用
- (5) レクリエーション活動の再開に向けた新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの改訂

2 レクリエーション推進組織の育成 ～推進組織事業～



市町村レクリエーション協会(令和元年度に全市町村に設立)や種目団体が実施するイベントや大会に、多くの地域住民に参加促進することで、まちづくりの活性化に取り組んでいきます。また、「岐阜県レクリエーション推進団体」への支援を充実し、多くの団体や会社等が、子育てや介護、社員の健康づくり、障がい者等の社会参加による共生社会の実現等に理解を示したレクリエーションの計画を実施できるよう努めます。

- (1) 市町村レクリエーション協会・種目団体の育成および連携の強化
 - ・活性化研修の実施、運営支援、種目大会支援
- (2) レクリエーション推進校との連携
 - ・連絡協議会の開催
- (3) レクリエーション推進団体との連携・拡大
 - ・レク用具活用セミナーの開催、推進団体紹介動画の配信
- (4) 関係団体や組織との連携

3 レクリエーションの人材育成 ～ソフトインフラ事業～



子どもの体力向上やコミュニケーション力向上、就業者の健康づくり、高齢者の認知症予防、障がい者のレク体験等、様々な世代や属性に応じた講習会を開催し、年齢問わず幅広い県民に生涯学習の機会を提供します。また、学んだことを地域に活かす「ミナレク運動推進リーダー」を養成します。さらに、レクリエーションに功績のあった功労者をたたえるため、表彰を行うことで、継続・発展に貢献する人の功績を多くの方々に知ってもらい、レクリエーション文化を受け継ぐ後進へとつなげます。

- (1) ミナレク運動推進リーダーの養成
 - ・養成講習会の開催
- (2) 表彰
 - ・生涯スポーツ功労者表彰、岐阜県知事表彰、日本レクリエーション協会表彰、岐阜県レクリエーション協会表彰